



公園清掃作業D班

不定期ですが、馬場公園と  
神奈中東公園のニヶ所を掃除。

一つずつ ゆったりペースで ゴミ拾い。



アカデミーハウス近くの海岸の掃除。  
1月7日、こちらは、ゴミ袋を片手に  
ガンや紙クズを拾って歩きます。

海岸清掃作業A班

**予言**

▼コラムを書くのは難しいと思う  
今日この頃。何も天下の大新聞で  
はあるまいし、かと言ってさり気  
なく書いてしまうと小学生の作文  
のごとくに褒め、少し深く考えた  
りすると、結局福祉論、施設論へ  
と、天声人語もどきになってしま  
う。起承転結、屁のカタパ。どこ  
吹く風か?と切日。電、イヤ鬼の  
編集長の逆鱗に触れぬ様コソコソ  
最後の悪あがき。▼そういえば今  
年は辰年で竜は伝説の動物だど  
それなりに珍もある。竜の眼下に  
は逆さにはえた鱗がある。乗りこ  
なす事もできる竜だが、この逆鱗  
に触れると必ず人を殺すと言う。  
今では激しい怒り——とも解され  
る様だが。▼こわい竜でさえ逆鱗  
は一つ。日頃叱る事の多い我一  
同、全身逆鱗だらけじゃなからう  
か。初心の思いどこへやら。自分  
の逆鱗何ぞやと振り返る。しかし  
逆鱗など一つも無いと正当化。こ  
んな自分がアア悲し。生きてく限  
り生き様を、問われていくのは人  
間様。ここが、竜とはちと違う。  
▼今年も素心学院をよろしくと、  
小竜が申し上げておきます。居  
眠りに触れてやっして下さいまし。  
昭和六十三年元旦 (丸)

後援会加入のお誘い

みなさん! 素心学院後援会に加入しませんか。  
私達は素心学院の運営を側面より援助し、わずかででも障害者の福祉に寄与できたらという主旨で、後援会活動を行なっています。  
会員一人一人の事情にあわせて無理のない、いろいろな協力や参加の形を考えております。  
■主な活動内容  
① 会員をふやそう/  
② 資金を集める為にバザー等を行なおう/  
③ 素心学院でボランティアをしよう/  
会費は年額 一口1,000円です。  
会員には素心学院新聞が郵送(年2回)され、また毎年5月には総会が開かれます。  
入会案内書をお送りいたしますので、後援会事務局までご連絡下さい。

素心学院後援会会長  
水沢孝幸  
事務局  
〒259-01 神奈川県中部大磯町虫窪24  
素心学院内 [担当一彦坂]  
Tel(0463)71-1255番

前回、後援会の中のボランティア委員会の活動についてご紹介をしましたが、今回は「事業委員会」についてふれてみます。  
この委員会は、何か事業をおこし、少しでも収益をあげ、後援会の財政面での充実をはかっていくというもので、主な活動はバザーへの参加と福祉カレンダーの制作・販売です。  
現在の委員長は藤沢市にお住まいの水谷勇三氏で、メンバー五名を中心に、各種バザーに出店したり、一万部にのぼる福祉カレンダー(一部五五〇円)の販売に力を注いでいたっており、最近では大磯のさきんか祭りでもGパンを販売したり、平塚の



市民市で見本カレンダーを売りました。  
大磯のさきんか祭りでは、毎年「ボランティアさきんか」の皆様の全面的な協力をいただき、今回も大きな成果をあげることができました。  
今後もバザー活動と、福祉カレンダーの販売を続けてゆく予定です。皆様の暖かいご協力をいただきますよう、心からお願ひ申し上げます。  
〈後援会事務局〉

沢井会長さん安らかに

沢井会長のご逝去を知った時、呆然としたのは私だけではありません。保護者や職員はもとより、院生の中には泣き出してしまふ人もありました。  
私達はいつでも「今」の次に何があるかを知らず、先を見つめて生きています。  
会長、あなたもそうでした。数年前から古くなった女子棟の改築をどうするか、高齡に向ってある院生たちの今後の生活をどう作っていくか、そんなことばかり話し合っていました。  
そして、いよいよ来年度に女子棟の改築が予定され、保護者会として最後の保護者会開催の直前に悲しい知らせとなってしまいま

田代哲郎

素心学院保護者会長・沢井正雄氏は去る10月20日、脳溢血のため急逝されました。  
昭和41年4月、素心学院成人施設開設時より保護者会会長として、今日までの21年間の長きにわたって会長として尽力されました。(享年66才)  
ご冥福を心よりお祈りいたします……

会長、あなたが願っていたように、みんなの協力で女子棟改築ができることになりましたよ。  
会長の残された偉大な意志を我我みんなで造り上げていきます。  
安らかに



編集後記

▼年越しの夜の雰囲気は、一年の終わりといい事で何処か「ほっ」とさせられるものがある。考えられていると、昨年一年間いろいろなことがありました。振り返ってみると、何となく思い過ぎていた一瞬一瞬が、かけがえのない時間に見える。  
▼動物は誠に敏感なもので、我家の猫「端枝ちゃん」は自分の家の中に他猫が入り込んでいるのを見て姿をくらませてしまつた。おかげで他猫は「サム」と云う名前をもらい安穩として暮すのだった。端枝ちゃんカムバックスノ!  
▼ようやく汲み取り式トイレに慣れた。汲み取り式のさつくばらんさがいなど思っていたが、洋式用便座をかぶせてしまった。うん、これもなかなかしつやかでいいものだと思いつつ正月を迎えました。(丸)  
▼なにはともあれ、明けておめでとうございます。今年も「もしも」をヨロシクノ。(見)  
▽神奈川県中部大磯町虫窪24  
電話(0463)71-1255  
社会福祉法人 素心学院  
素心学院施設長 田代哲郎

# 素心学院って な〜ん?

基礎班は素心学院の中では最も障害の重たい人組。しかし明るさ、にぎやかさでは学院随一で、一諸にいて大変楽しい人達です。言葉は限られた数しかありませんが、身振り手振りを交え、一生懸命いろいろなことを訴えてきます。どんな事をして過しているのか、ほんの少しご紹介いたします。

A君は積み木やボール投げが大好き。一日中でも飽きません。余技としてはスリッパや本を外へ放り投げ、一人で楽しんでます。BB君は本がこの上なく大好きで、それも上質紙のものが……読むというより、肌触りを楽しんでいるようです。それに散歩も大好きで、愛用のベビーカーを押して笑顔絶やらず歩き続けます。

B君の弟のC君。お兄さんとは趣味嗜好が全く別。動くことは好きではなく、ソファーに横になって相撲のビデオをみて過すのが好き。時々そのまま眠ってしまうこともあります。

D君は誰もいない所を探して居眠りするのが大好き。寮内に2〜3ヶ所お気に入りの場所があります。そして、なんとといってもお菓子が大好きで、出かける時は荷物の中身が気になってしまいます。

最後にE君ですが、日本茶が大好き。よく「番茶飲みたいの」と言ってきます。どんな遠くでもお茶や急須があると、とてもうれしそう顔をします。

それぞれに強い個性を持った5人組。皆に共通することはお母さんが大好きなこと。そして明日が待ち遠しくなるような毎日になったら、と願っています。(佐)



きや、食器の選択等、細かい配慮もなされてきている。外就労で遅く帰ってくる人にはいつも暖かい御飯とみそ汁が待っているし、お酒の飲める人には、毎週土曜日の夕食に、晩酌として日本酒やビールも出る。時々ではあるが、お好み食堂というて厭い食べたい物を選択できるようにしている。これもこれも、家庭の生活、本来の生活を目ざしている。施設職員が「普通だったら、こうするの」と言うことがあるが、ここに施設や集団の基本的課題、問題があるようである。特に食事に関しては一番あたか家庭的な雰囲気

## 居室のしくみ

素心の居住スペースは、全般的に狭いといえる。正確に調査した訳ではないが、二階男子寮の場合など、10〜12畳ぐらいに2段ベッドが2台設置され、4人部屋である。都内にある学生寮みたいでいかにもゆとりがない。収納ダンスにしても一年の衣類を入れておけるスペースはなく、他の収納庫に保管するが、父兄に持ち帰ってもらうという現状である。そのほう

あつてほしいと切に思っている。つい最近、食事の終わり方が自由になった。それまでは早く食事が済んでも、最後に食べ終わる人に合わせて「ごちそう様」していたが、今では、自分が食べたついでに退席して良いことになった。ささやかなことであるが、こうしたことがこでは大変喜ばしく思えてくる。

## 職員のしくみ

何といっても施設は人なりき、つまり職員さんであるということである。しかし職員は、私的、個人的、生活維持のため、職業として施設に勤務していて、勤務条件も労働基準法で守られているため、施設は、そこで暮らす者の家庭にはなり得ないという限界をもっているのも事実である。そういう矛盾をかかえながらも、そこを生活している人たちが、自分たちの生活を築くことに積極的に関わり、俗に、心理学者の言うところの内発的な動機に基づいた

が衣類の管理がしやすいが、私物整理のためあまり無駄になる物は置いておけない。彼らは、それでも文句も言わずそれなりにやっている。その居室の3部屋に、つい最近テレビを設置した。



ホームで家庭的なものだと思われる。ここで施設がその運営体制の限界から、即、家庭になり得なくても、施設でしか住む場が無いという人もいる。彼らにとっては、家庭そのものの機能が期待されている。そこで考えねばならないのが、施設における集団制約についてであり、もう一つには、彼らの生活全般において選択性の機会を奪わないということである。人は、あまり与えられ

た生活にあっては、意欲的に生きられないのであって、彼ら自身の生活がその人の行動、身振り、表情などで精一杯伝えられ、生かされなければならないと思うのである。また、素心で暮らす人たちの幸せのすべは、直接タッチする職員のパーソナリティとか職業観、人生観、世界観などにこそある。この場合、工場でのテレビやクルマを製造するような仕事とはわけが違い、相手自身が自身と全く同様に、取り返しのつかない一回限りの人生を、今歩んでいる一つの生身の人間だからである。職員のあり方は、すなわちそこで生活する人達の方とも言える訳で、そういう意味で施設職員の役割と責任は大きく、日常のいろいろの場面で、反省しなければならぬことや改善すべきことなど、無限にあってつきることがないように思われる。

◆ ◆ ◆  
みんなで「幸せだなあ〜」と言えるようにしたいものだ。

世の中には、いろいろな人がいる。いろいろな人がいるから、そこいろいろな考え方や価値観が生まれ、完全とは言えないがそれぞれの事情・環境に応じた、その人らしい生き様や、暮らしぶりとなって表われている。そうしたなかで、自ら刺激を求め、人生の選択をし、自分自身の存在に意義をみいだしながら、より生き生きとしたらしや豊さをたえず創造しようとしている。

施設の対象は、ある意味ではそういつたいいろいろな人達、すなわち人であり生身の人間である。精神薄弱者と呼ばれる人には、その知的ハンディ故に、何も悩まず、何も考えない。気楽なもんだな〜と考える人が多いと思われるが、けっしてそんなことはない。人である限り、一言でいえないにしろそこには、「生」に対する共通の願いがあり、障害者であろうとなかろうと、誰でも常にその原点に引き戻され、悩み苦しみを覚えさせられるものがあるというのではないだろうか。そういう意味において、人は精神的存在そのものであり、施設の中で、行動意欲がなかつたり、イライラや興奮、怯えた

# 特集 生活・再・考 いま、素心は!!

## 生活時間のしくみ

を制約していることも事実である。そうした制約をすこしでも取り除き、逆に施設を持つメリットを十分に生かし、拡大することが、そこに住む人の真実のニーズに答えるものだろう。

## 食事のしくみ

素心学院で生活する人は、衣食住が完全に保障されている。その中でも、食事に対する期待や楽しみも大きく、日常生活の重要な場面である。個人の栄養や嗜好、体調を考えた食事が出され、メニューも豊富である。集団生活のご都合主義であるプラスチック食器も4年前より姿を消し、盛り付けや付け合せ、必要があれば魚の骨抜

様子等、ゆがんだ傷だらけの心に胸を締めさせられることも少なくないのである。

施設は、長い間、地域から隔離的になりがちだった。ともすれば施設中心の運営に片寄り、そこに住む人の生活を疎外しがちでもあった。そうした歴史的反省も含め、今では、そこに住む人を主体とした施設へと、徐々に移り変わってきている。

しかし現実的に、施設のくらしが常に「集団」を単位とする生活形態を基礎にする、ことによつて、その集団規範や社会的基準から、そこに住む個人の生活や自己実現の欲求を制約していることも事実である。そうした制約をすこしでも取り除き、逆に施設を持つメリットを十分に生かし、拡大することが、そこに住む人の真実のニーズに答えるものだろう。

素心の生活は、毎朝6時30分に始まる。とはいっても、5時ぐらいからウロウロしている人もいれば、7時過ぎてても全然おきてくる様子がない人もいる。個人差はあつても生活の流れとして、起床、洗面、掃除、朝礼、食事、歯磨き、排せ、作業開始といったように、時間単位のなかで、個人の動きが当てはめられていると言える。朝、30〜40人単位の院生を相手に、一人の当直職員が蒲団をたんだり、着替えをさせたりしながら、施設内を走り回り「顔洗って〜」とか「集まれ〜」とか叫んでいる様子を見る、やむ得ない現状かもしれないが、そういうた粹のなかでは、個人の能力を云々する前に、一人ひとりそれぞれの目的をもつて生活を開拓し、意欲的に生きるといった人間本来の欲求やくらしが、環境的に求めにくいということになる。

## 地域の声

### 湘南美容室



こんちは、湘南美容室です。院生の方のおつき合いも早や18〜19年になろうとしています。初めのうちは「おばさん〜」と呼ばれるのに、抵抗もありましたが、今ではすっかり板についております。私のお店の20m前ぐらいから「こんにちば」と言つて入つて来ます。入口で先生の結婚、赤ちゃんの食事、病氣、と一通りしゃべります。又、美しくなるという事はうれしい事で、自然に笑顔になり目が輝やいて、本当にかわゆくなるのです。中でものり子さんは「香水つけて」「白粉つけて」と言うので「自分で好きなだけつけなさい」と言つと、顔じゅう真白になって皆で大笑いすることもあります。私にも、9才になるダウン症の姪がおり、とても院生の方達を身近に感じます。院生の方達がお店に見るときは旅行のとき、自宅に帰るときなど嬉しい事の前で、自然に家の事が中心になるので、やはり自分の家というのが一番と言ふ事がよくわかるのです。



私達が一番に驚いているのは、素心学院のみならずが非常に礼儀正しい人達だということです。日常、私達が忘れてしまつている「ごちそうさま」ありがとう」という言葉が素直に出て来るといふことは、簡単な様にみえてもなかなか出来る事ではありませぬ。そんな小さな事も一つ一つ教えている、先生の方の熱心さも伝わってくるようです。これも伝わってくださるおそいで「レストラン・けやき」におこし下さいませようお願いします。

# The 素心院 素心マップ

## 素心学院

男女あわせて75名の方が、一緒に生活し、仕事をしている所です。作業棟も新しくなり、仕事もやりやすくなりました。寒い日が続きますが、みんながんばっています。楽しい事、うれしい事、つらい事どれも一生懸命にやっています。ぜひ遊びに来て下さい。

## 富士再生

空ピンを洗って再生している所です。素心から一名、ピン洗いがから分類を主に毎日働いています。ガンバレ!!

## さざんかホーム

男女9人四季物語り：寮母さんと共に生活している家です。毎日ここから元気に仕事に通っています。ヨロシク!

## 竹内牧場

素心から1名、草刈り、牛の世話を仕事としてます。理解ある竹内さんに院生も一生懸命……!

## 神田組

道路の工事から家を建てるまで、幅広く建築に関する仕事をしています。実習班から一名働きの腕は一流です!!

## レストランけやき

素心学院から一番近いコーヒー屋さんです。土日や、おやつの日等によく行きます。コーヒー1杯?円。ケーキのセット…?円です。みんな、けやきに行く事を楽しみにしています。

## 杉山つけもの店

実習班から新しく仕事に行ってます。毎日手を真赤にしてがんばっています。

**湘南美容室**  
素心学院の女性達が美しくなるために、多く利用させてもらってます。それぞれの顔に似合うようにしてもらおうのも大変。とってもお世話になってます。

## 大磯町立美化センター

ホーム生、素心から4名がピン・カンの分別と、2名が作業員室の清掃にと働いています。ボク達ピン・カンに関しては敏感なさ。ちゃんと分けて出してね。

## たかはし理容店

もう長年のおつき合い。素心の男子の髪の手ならおまかせ。いそいそと出かける院生に、あたたかい言葉と鋭いハサミでいい男にしてくれる所です。院生の楽しみになっています。

## 田中金属

家庭のゴミを回収し大磯の美化センターへ運んでいます。さざんかホーム生、素心学院の実習A班から3名がトラックに乗り込み、回収にまわって働いています。車の誘導もかなり上手になりました!!

## 生協

素心学院実習B班の作ったおいしい野菜を時々店頭にて販売させてもらっています。……感謝。

## 柳川乳業

素心に、毎日おいしい牛乳を届けてくれます。さざんかホーム生2名がここで牛乳をはこんだりして働いています。

## 相模再生

町の不燃物と粗大ゴミを回収して、美化センターへ……さざんかホームから一名働きに行ってます。燃えるゴミと燃えないゴミ、ピンとカン、を分けて捨てて下さいね。おねがいしま～す。

